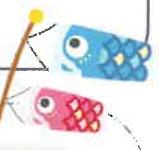


# 磯路地域活動協議会通信 135 号

URL <http://www.isoji123.info/>

2024年5月



## 磯路会館 老人憩の家 リフォーム完成

1月初旬より続いていた、磯路会館の1階部分のリフォーム工事が無事に完了しました。

まず、玄関に入った正面には大きな洗面台を設置。感染症予防のためにも、会館を利用する際にはご使用ください。次に、男女共用だったお手洗いは、スペースを分け、多目的トイレを設置しました。手押し車や、車椅子ユーザーの方にもゆったり入れる広さを確保し、おむつ交換台も取り付けました。さらに厨房も新設し、これまで外部委託するしかなかった調理を伴う事業も可能になりました。最後に、1階のメインである貸室部分は、間仕切りや外廊下を無くし、床材を張り替えました。以前よりかなり広くなり、会議や研修で大勢の方が集まる時はもちろん、「いそじキッズ」や「百歳体操」等、体を動かす事業にも使いやすいものになりました。老若男女、年齢を問わず、多くの方に利用いただく会館として、地域の方々がより集いやすい場になっています。

工事費用については、これまでの会館の利用料や地域で行っている古紙回収の収益が主な財源として充てられており、地区社会福祉協議会の積立金や港区社会福祉協議会からの助成金を使用しました。総工費は約2,000万円。会館がリフォーム工事を行っていることを知った匿名でのご寄付もいただいております。本来なら個別にお礼を申しあげるところですが、紙面をもってお礼の言葉とかえさせていただきます。

お力添えをいただいた皆様、本当にありがとうございました。什器類については、今後ますます充実できますよう、古紙回収事業への引き続きのご協力、よろしくお願ひいたします。



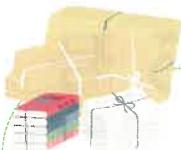
## 見守りの皆さんと児童の顔合わせ会

4月22日(月) 磯路小学校



児童朝会の時間に、地域の皆さんと、磯路小学校児童との顔合わせ会が行われました。登下校の時間帯にあわせて、町会や老人会、女性会、更生保護女性会等が、交通量の多い交差点や、見通しの悪い箇所に立って、こどもたちが安全に通学できるよう見守ってくださっています。また、芝生のお世話等、小学校に関わってくださっている皆さんも、一堂に介してご挨拶、今年度もよろしくお願ひします。





# ほっとにゅーす



## 古紙回収からのお知らせ

令和5年度（R5年4月～R6年3月）の古紙回収による収益は844,120円でした。会館改修工事費の支払いに充当させていただきました。今年度も原則第4日曜日午前中に実施します。回収できるものは、新聞・雑誌・段ボール・アルミ缶・古布です。引き続きご協力いただけますようお願いします。

		引き取り金額
令和5年	4月	75,235
	5月	79,815
	6月	71,430
	7月	67,525
	8月	86,065
	9月	63,155
	10月	58,230
	11月	79,020
	12月	57,710
令和6年	1月	90,105
	2月	52,495
	3月	63,335
令和6年度合計		844,120 (円)

## 桂音会主催 桜まつり

3月31日(日) 桜通り

お天気に恵まれ、暖かい陽気の中、桂音会主催の桜まつりが開催されました。桜通りを歩行者天国にし、キッチンカーが勢ぞろい。舞台やお食事スペースもあり、大勢の来場者がありました。メディアからも多数のカメラが入っており、テレビでは当日の様子だけでなく、桜を守って来られた桂音会の方の思いや桜通りの抱える課題についても放送されました。



Cafe

## ふれあい喫茶



5月18日(土)

10時～13時

### メニュー

コーヒー(HOT/ICE)

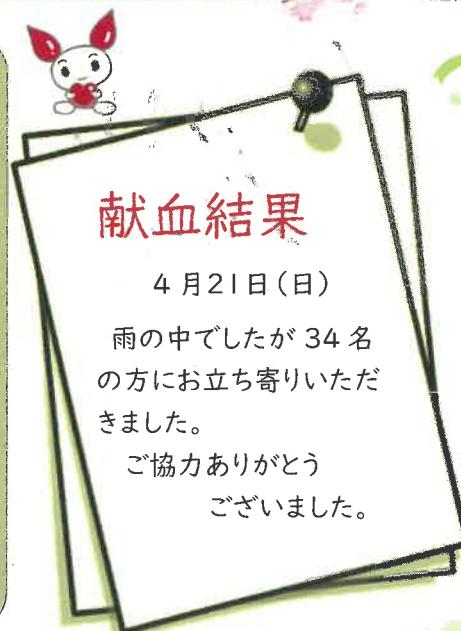
紅茶(HOT/ICE)

オレンジジュース

トーストまたはお菓子付き

費用 100円

場所 磐路会館



## 市岡中学校・磐路小学校

入学式 4月3日(水)

### 市岡中学校

1年生 139名が入学しました。

4月5日(金)

### 磐路小学校

1年生 40名が入学しました。

新入生の皆さん、  
ご入学おめでとうございます！

## 編集後記

桜の開花に一喜一憂していた日々が今年も終わり、60年守ってきた桜も、お別れの時が近づいています。毎日、花びらのお掃除をしてくださっている方たちも、「今年で終わるのかしら……」とさみしさと不安がまじったようなご様子でした。今後の桜通りについては、歩道部分を安全に通行できることはもちろんですが、関係機関だけでなく、学識経験者などの協力も得ながら、広くご意見を集め、より良い方策を考えていくとお聞きしています。桜通りの名前が消えることなく、今後も皆様から愛されるものになっていくことを期待してやみません。